



福井県「能楽の郷池田町・脱炭素実行宣言」

近年、地球温暖化に起因するとされる気候変動の影響により、全世界で深刻な自然災害が多発しています。

本町においても、平成16年(2004年)7月18日、激甚「福井豪雨災害」が発生し、5集落に壊滅的被害を与えました。私たちは、自然の脅威と恐怖を目の当たりにしましたが、また一方では復旧に支援頂いた人々による、共同する手の偉大な力も実感いたしました。

今、このままに気候変動を見過ごせば、さらに大きな災害への危機が高まると予想されています。将来に向けて、地球温暖化を防止し、気候危機を回避するためには、原因とされる二酸化炭素の排出量削減に積極的に取り組む必要があります。

私たち、池田町民は、地球温暖化、気候変動に強い危機感を持ち「一人でもできること、みんなで一緒にできること」を合言葉に、身近なところから環境に配慮した取り組みを着実に実行してまいります。

池田町の豊かな山林、豊富な水資源などの恵まれた自然資源と、先人達が培ってきた生活文化資源を生かして、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すとともに、循環共生社会を構築することを宣言いたします。



Fukui SDGs Partner

ふくいSDGsパートナー



【脱炭素アクションプラン】

- 木望の森 100 年プロジェクトに基づき、森林整備の充実、木造建築の推進、灯油等からバイオマス熱エネルギー利用へのシフトの実践
- 「ゆうきげんき正直農業」「食Uターン事業」を中心とした地域資源循環型農業の高度化
- 資源リサイクル 100%運動を通じたゼロエミッション社会の構築
- 小水力発電、太陽光発電など再生エネルギー資源の開発と利用の促進
- 地域経済循環と農業・環境向上の相乗効果を実現するための、地域経済システムの開発
- セイタカアワダチソウ駆除などの生態系保全活動の継続とともに、開発による自然環境破壊・景観破壊抑止の徹底
- 水を清く守る条例や、水と土を守る環境保全型農業を通じた、水源保全と清流保護の実施

令和 4 年 4 月 1 4 日



ふくい
SDGs
パートナー

池田町

町長 杉本 博文

